

見本

履 歴 書

<個人情報の保護について>
本提出書類に記入いただいた個人情報は、採用・入職の必要な手続きにのみ使用します。

(立教大学提出用)

(西暦) 2025 年 5 月 5 日現在

写真は履歴書に挿入せず、別途提出してください。 写 真 (縦 4cm×横 3cm)	ふりがな	りっきょう はなこ	性別
	氏 名	立教 花子	女
	英 字	Hanako RIKKYO	国籍
		1982 年 4 月 1 日生 (満 43 歳)	日本
ふりがな		電話 (自宅)	
とうきょうと としまく にしいけぶくろ		03 - 3985 - 4938	
現住所		電話 (携帯)	
〒 (171 - 8501)		080 - 1234 - 5678	
東京都豊島区西池袋 3-34-1 立教ハイツ 201		E-mail	
		hanako.rikkyo@rikkyo.ac.jp	

コメントの追加 [F1]: ・すべての項目は古いものから順に西暦 (4 桁) で記載
・フォントは全て「MS 明朝」の 10.5pt を使用
※電話番号のみ 12pt

コメントの追加 [NT2]: ・学内で使用予定の氏名を記載
※戸籍上氏名の記載は不要。学内で使用予定の氏名 (旧姓・通称等) と戸籍上氏名が異なる場合は、入職時に別途「旧姓等使用届」を提出
・人事システムの登録に使用するため、英字表記を「英字」欄に記載すること

年	月	日	学 歴 ・ 免 許
			学歴
2000	3	31	立教池袋高等学校 卒業
2000	4	1	立教大学 ●●学部 ●●学科 入学
2004	3	31	立教大学 ●●学部 ●●学科 卒業
2004	4	1	立教大学大学院 ●●学研究科 博士前期課程 入学
2006	3	31	立教大学大学院 ●●学研究科 博士前期課程 修了
2006	4	1	立教大学大学院 ●●学研究科 博士後期課程 入学
2009	3	31	立教大学大学院 ●●学研究科 博士後期課程 修了
			免許
2004	3	31	中学校教諭専修免許 (英語)
2004	3	31	高等学校教諭専修免許 (英語)
2020	11	30	University of Cambridge, Certificate in Teaching English to Speakers of Other Languages (CELTA)

コメントの追加 [NT3]: ・学歴は高等学校卒業から記載
・大学院博士課程については、①修了、②単位取得退学、③中途退学の種別と年月日を記載
・現在、大学院博士課程に在学中の場合、「入学 (在学中) または入学 (休学中)」と記載
・国名・都市名等の記載不要

コメントの追加 [NT4]: 教員としての資格のみを記載し、その他の検定試験等については記載しないこと

年	月	日	学 位
2006	3	31	修士 (●●学) 立教大学
2009	3	31	博士 (●●学) 立教大学

コメントの追加 [NT5]: 修士以上の取得学位名を、大学名、専攻分野を含めて正確に記載すること
※日付は学位記発行日を記載

※別紙の「Sample - Rikkyo CV_Japanese」に従ってご記入ください。

(氏名 立教 花子)

年	月	日	職 歴	海外での 教育研究歴
2009	4	1	●●高等学校 常勤講師 (2011年3月31日まで) 英語プレゼンテーション、英語特講A	
2011	4	1	University of XXX, College of YYY 非常勤講師 (2014年3月31日まで) 日本語初級	○
2014	4	1	●●大学●●センター 非常勤講師 (2019年3月31日まで) Reading & Writing、英語初級A・B	
2019	4	1	立教大学●●センター 常勤講師 (現在に至る) Reading & Writing、英語初級A・B	
2021	4	1	●●大学●●学部 非常勤講師 (現在に至る) Reading & Writing	

コメントの追加 [NT6]: ・専任(常勤)として勤務する/した大学・研究所等は、所属機関・職種を正式名称で記載

【例】●●大学●●学部/▲▲センター 常勤講師
・非常勤講師の勤務歴は、専任(常勤)職に就いていない期間のみの記載でも可。ただし勤務期間は正確に記載すること
・立教大学での兼任講師(非常勤講師)歴は必ず記載
・教歴は、主な担当科目名のみ記載し、コマ数や授業時間等は記載不要
・日本国外における教育・研究活動の期間がある場合、必ず期間および活動内容を記載の上、「海外での教育研究歴」欄に「○」印をつける
・国名・都市名等の記載不要

年	月	日	賞 罰
●	●	●	●●大学●●学部●●記念賞
2019	4	1	科学研究費 基盤研究 (C) 19KXXXX 研究代表者「●●●●●●●●」 (2023年3月31日まで)

コメントの追加 [NT7]: ・公的機関・学会・出版社等からの表彰、獲得した公的研究費、職務上の懲戒処分、研究費の不正受給に係る処分等について記載
・該当するものがない場合は「なし」と記載

年	月	日	学会ならびに社会における活動
			<u>学会における活動</u>
●	●	●	大学英語教育学会 (JACET) 会員 (●年●月●日まで)
●	●	●	全国語学教育学会 (JALT) 会員 (△年△月△日から理事 現在に至る)
●	●	●	全国語学教育学会 (JALT) ●●研究部会 委員長 (現在に至る)
			<u>社会における活動</u>
●	●	●	●●県●●会議副座長 (現在に至る)
●	●	●	●●省●●委員会委員 (●年●月●日まで)
			(該当するものがない場合は「なし」と記載)

コメントの追加 [F8]: ・現在所属している学会及び過去に所属していた学会を、**加入した年月順**に正式名称で記載
・学会において役員等を務めている又は過去に務めていた場合、その職名を()内に記載。退会の場合、その年月も記入
・第○回大会などの開催地における一時的な役職は記載しないこと

コメントの追加 [F9]: ・自身の専攻、研究分野等に関連した事項について、全国的又は都道府県における活動及び学会に準じる程度の水準や規模における活動を記載
・実績及び内容は簡潔に記述

著書および学術論文目録 (5点まで、他の業績は別紙で)
APA スタイルで記載: 例) 山田太郎(2008)「論文タイトル」『掲載誌名』4(1), 141-154。
◎立教花子(2009)『タイトル』立教大学大学院●●研究科博士論文。RIKKYO Roots, 立教大学学術リポジトリ。http://rikkyo.repo.nii.ac.jp/records/00000
○Smith, J., & Rikkyo, H. (2019). Title. <i>The Journal of XXX University</i> , 50, 10-20. (担当: データ収集およびデータ分析)
☆立教花子, スミス・ジョン, 山田太郎(2020)『タイトル』●●出版。 (担当: 「第1章」および「第2章」 pp.1-25)
Rikkyo, H., & Yamada, T. (2021). Title. In W. Smith & T. Brown (Eds.), <i>Book Title</i> (pp. XX-XX). XXX Publishing Co., Ltd. (担当: 全ページ)
立教花子(2022)「タイトル」『●●大学紀要』6(1), 10-20。

コメントの追加 [NT10]: ・APA スタイルで記載、DOI がある場合は DOI も含める。記載方法は、下記ウェブサイト参照 <https://www.scribbr.com/category/apa-style/>

・**発行年月の古いものから順に**記載し、学位論文には「◎」、査読付き論文には「○」、応募書類として提出している業績には「☆」を冒頭に追記
・共著の場合、全ての共著者名を出版物に記載の順で明記の上、自身が担当したページ番号若しくは役割を必ず明記
・著書、教材は出版社名を、紀要論文等は掲載誌名・巻・号を省略せず正確に記載
・学会等の口頭発表は、業績に含めない
・「出版・発行予定」の業績は、既に校正済みかつ出版年月日やページ数が確定しているものに限り記載

※別紙の「Sample - Rikkyo CV_Japanese」に従ってご記入ください。

(氏名 立教 花子)

[illegible]

コメントの追加 [NT11]: ・著書（定期刊行物以外で表紙に本人の氏名が記載されている刊行物）、学術論文、教材を分けて、発行年月の古いものから順にそれぞれ記載

- ・両面で5枚以内に収まるよう調整
- ・不要な場合はこのページを削除すること

※別紙の「Sample - Rikkyo CV_Japanese」に従ってご記入ください。